

長野市ヤングケアラー実態の概要 (長野県ヤングケアラー実態調査から)

調査概要

● 調査対象・回収数

児童・生徒・学生	県(全体)			長野市		
	対象者数	回答者	回答率	対象者数※2	回答者数	回答率(参考)
①小学5・6年生※1	約35,000名	31,378名	約89.7%	6,183人	6,046人	97.8%
②中学生※1	約54,900名	44,800名	約81.6%	9,502人	8,911人	93.8%
③大学生・短期大学生	約19,000名	1,502名	約7.9%	—	—	—

学校	県(全体)			長野市		
	対象校数	回答校数	回答率	対象校数	回答校数	回答率
④小学校※1	364校	321校	88.2%	57校	44校	77.2%
⑤中学校※1	193校	167校	86.5%	30校	20校	66.7%
⑥大学・短期大学	20校	11校	55.0%	—	—	—

※1 長野市の対象・回答には国立・私立を含む ※2 令和4年5月1日時点の児童・生徒数

● 調査手法

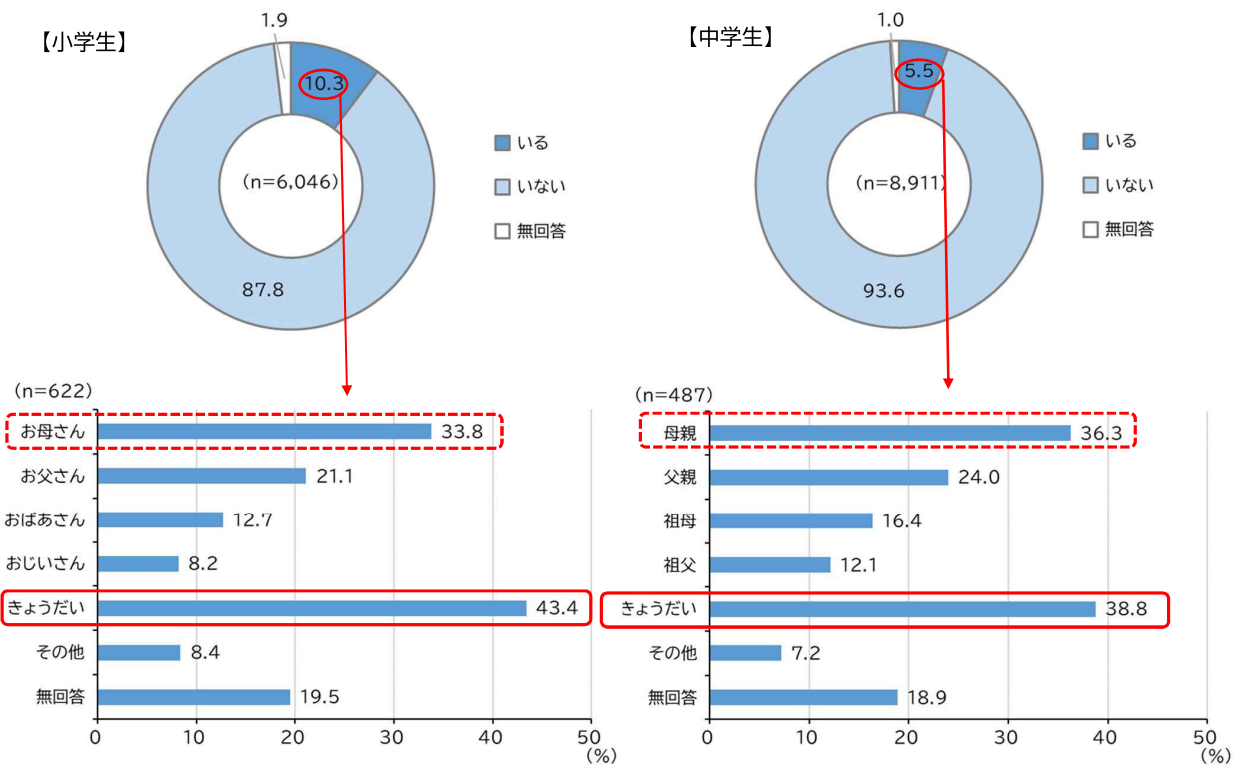
無記名式のアンケート調査で、WEB環境から任意で回答を依頼

● 調査期間

令和4年9月1日～令和4年10月25日

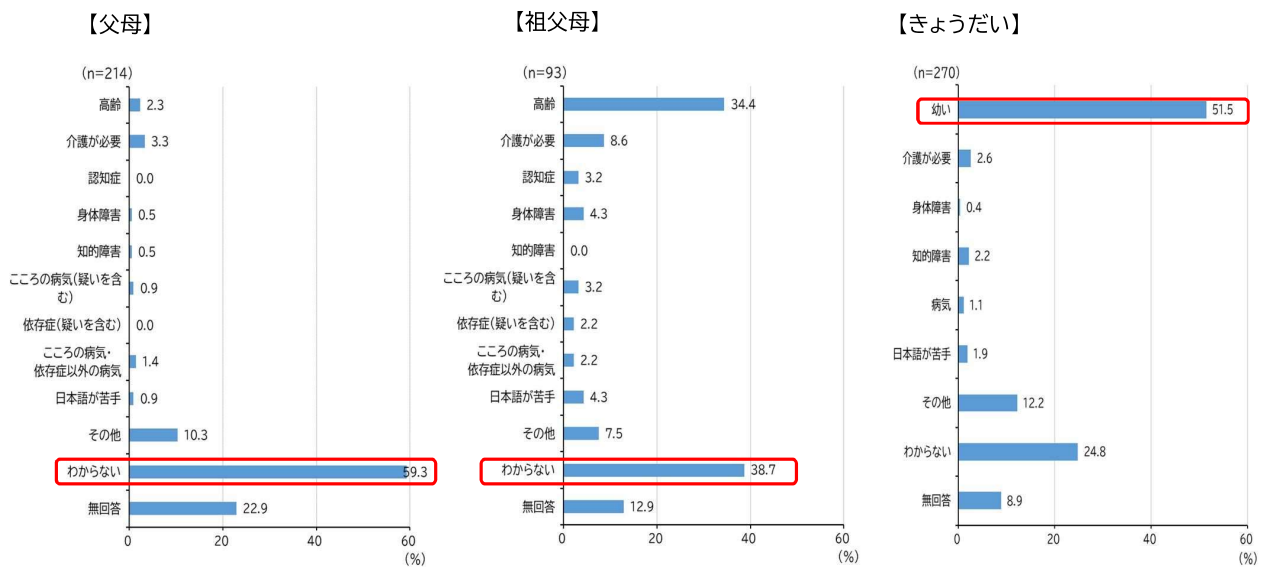
お世話をしている人の有無とその家族

- お世話をしている家族がいると回答したのは、小学生で10.3%、中学生で5.5%
- 小学生・中学生ともに、お世話をしている家族は「きょうだい」が最も多く、次いで「お母さん・母親」となっている。



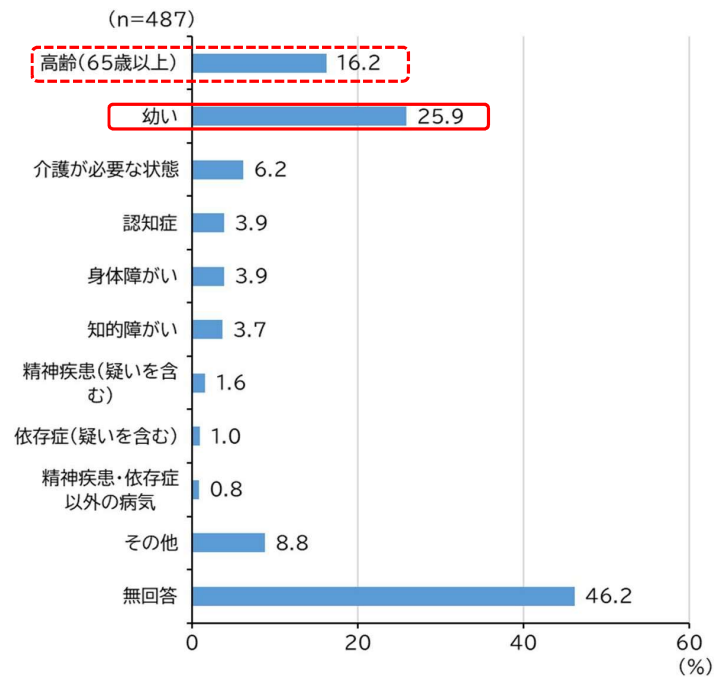
お世話をしている家族の状況(小学生)

- お世話をしている家族が「いる」と回答した小学生に、お世話をしている家族の状況について質問
- 父母、祖父母では「わからない」、きょうだいでは「若い」が最も多かった。



お世話をしている家族の状況(中学生)

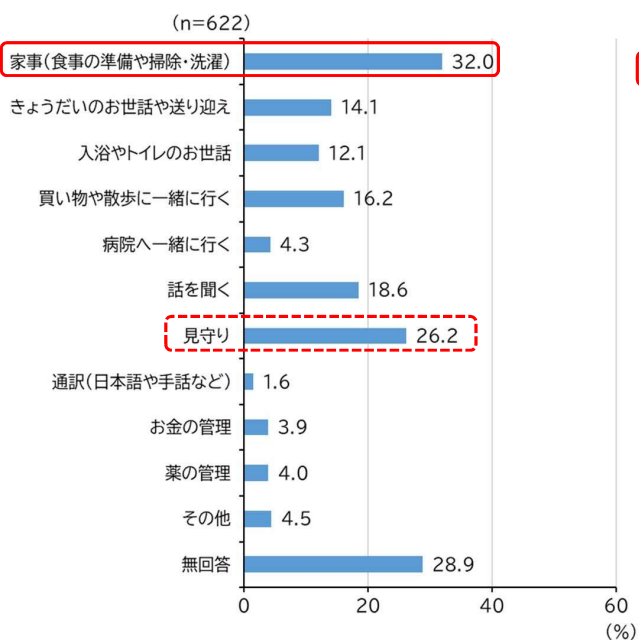
- お世話をしている家族が「いる」と回答した中学生に、お世話をしている家族の状況について質問
 ○ 「若い」が最も多く、次いで「高齢」が多かった。(※小学生と異なり、父母・祖父母・きょうだいを分けて質問し集計)



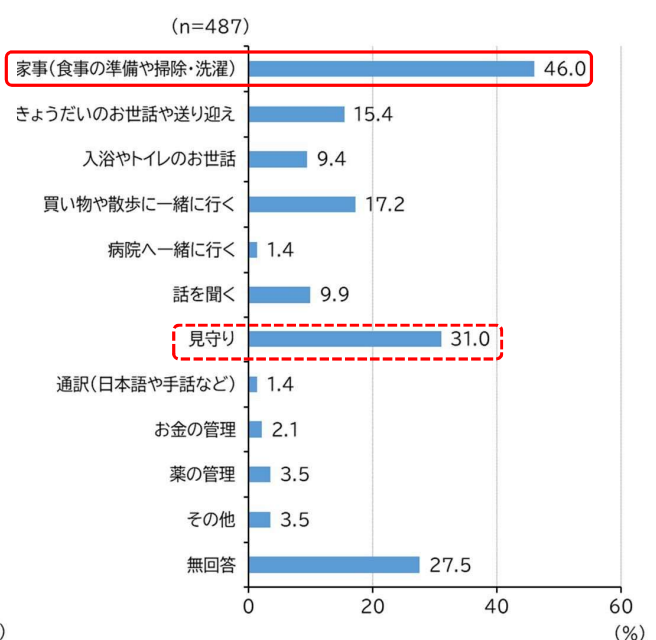
お世話の内容

- お世話をしている家族がいると回答した人に、お世話の内容について質問
 ○ 小学生・中学生ともに、「家事(食事の準備や掃除・洗濯)」が最も多く、次いで「見守り」が多かった。

【小学生】



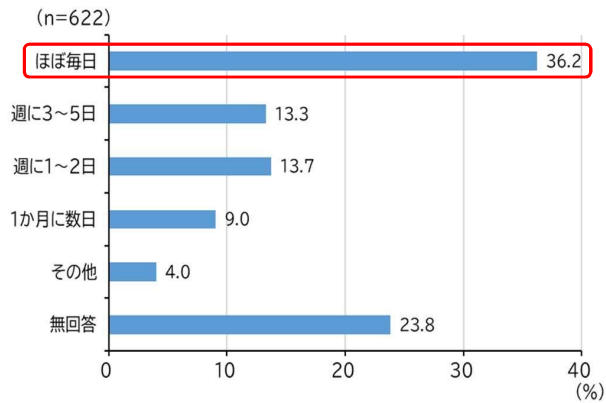
【中学生】



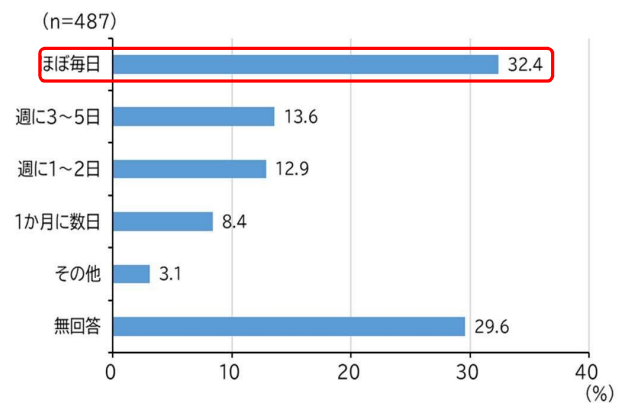
お世話の頻度

- お世話をしている家族が「いる」と回答した人に、お世話の頻度について質問
- 小学生・中学生ともに、「ほぼ毎日」が最も多かった。

【小学生】



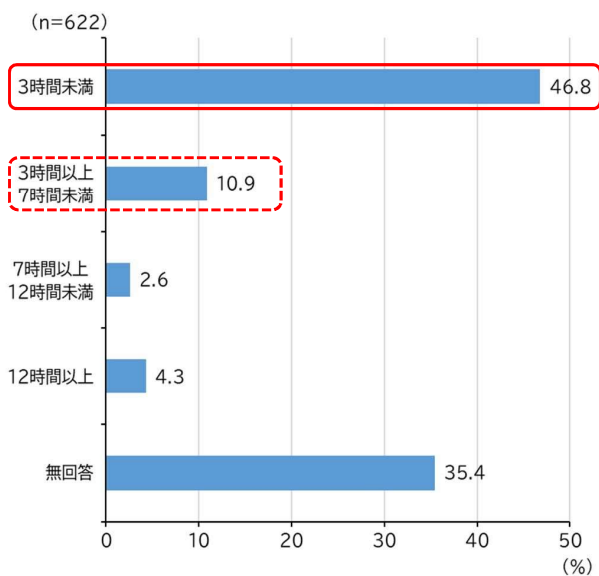
【中学生】



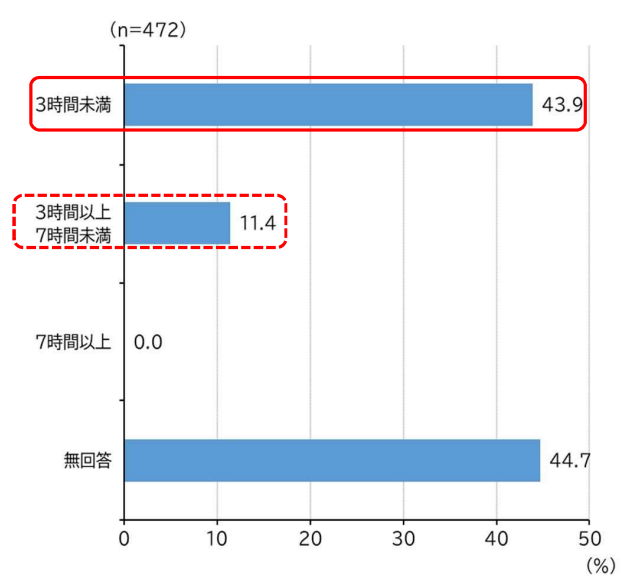
平日1日あたりにお世話に費やす時間

- お世話をしている家族がいると回答した人に、平日1日あたりにお世話に費やす時間について質問
- 小学生・中学生ともに「3時間未満」が最も多く、次いで「3時間以上7時間未満」が多かった。

【小学生】



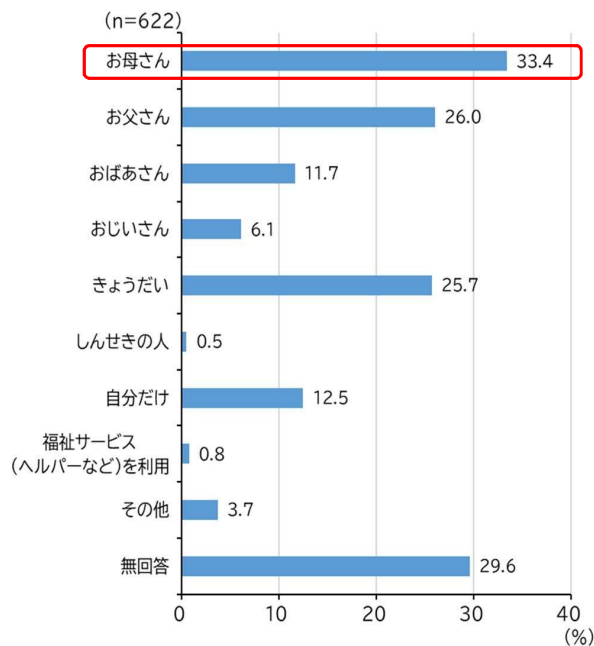
【中学生】



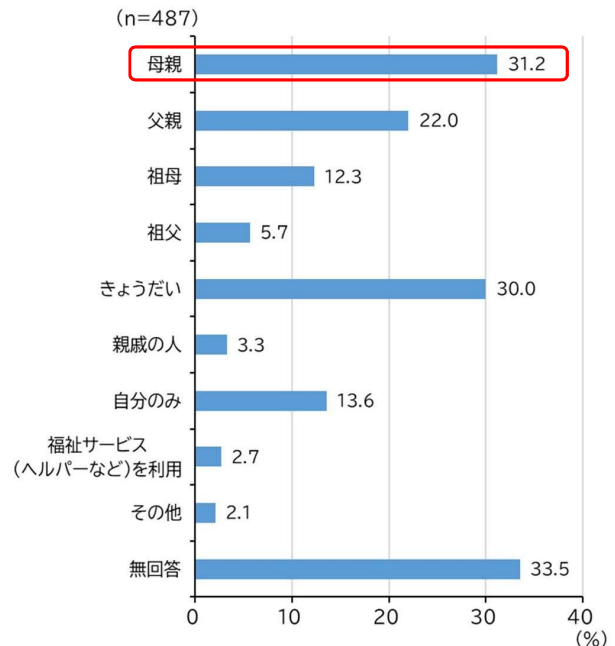
お世話を一緒にしている人

- お世話をしている家族が「いる」と回答した人に、誰と一緒にお世話をしているかについて質問
- 小学生・中学生ともに、「お母さん(母親)」が最も多かった。

【小学生】



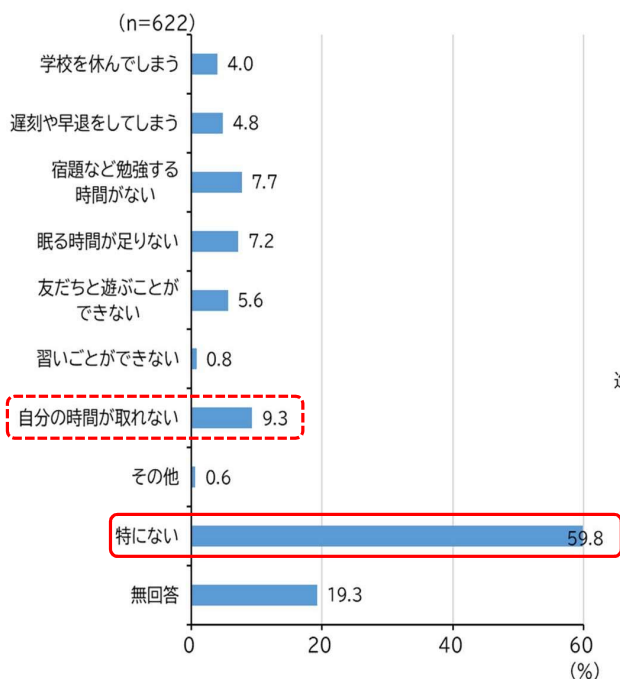
【中学生】



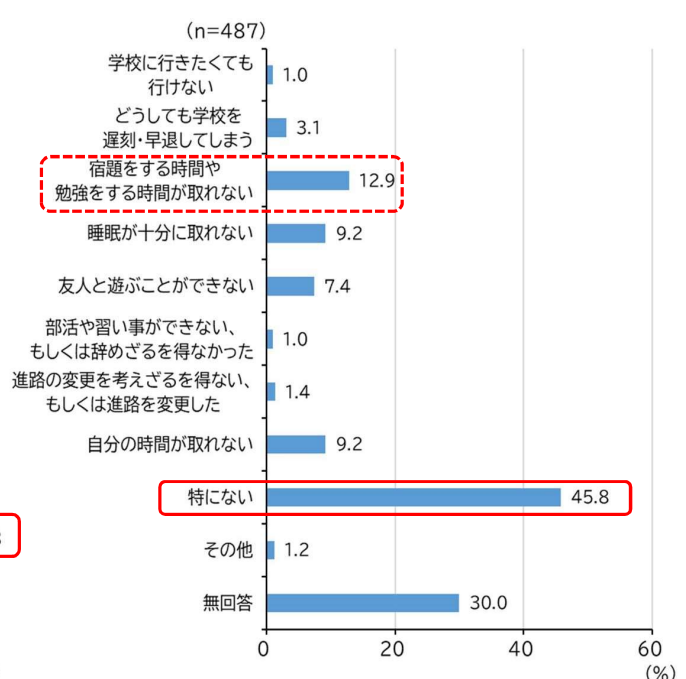
お世話をしていることによる家や学校での生活に対する影響

- お世話をしている家族が「いる」と回答した人に、お世話による影響について質問
- 小学生・中学生ともに、「特にない」が最も多いが、次いで小学生では「自分の時間が取れない」が、中学生では「宿題をする時間や勉強をする時間が取れない」が多かった。

【小学生】



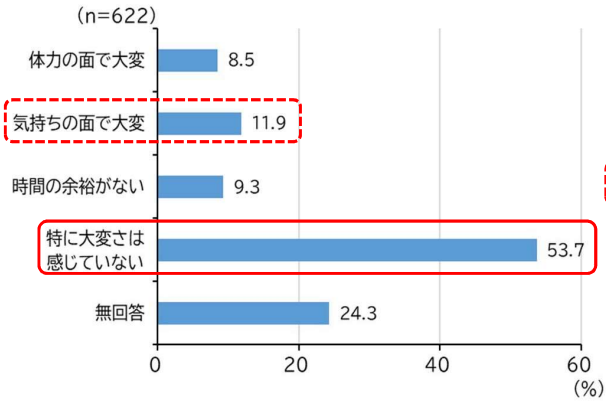
【中学生】



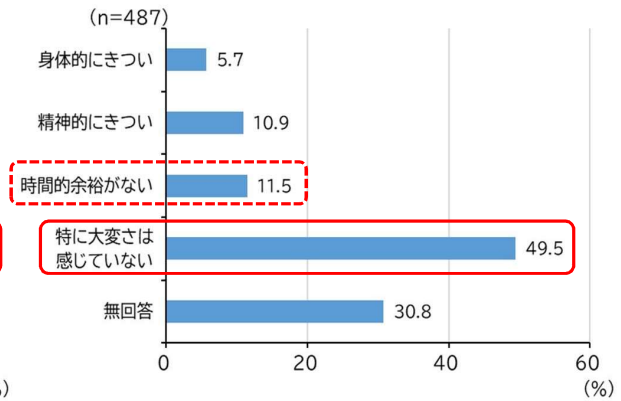
お世話することの大変さ

- お世話をしている家族が「いる」と回答した人に、お世話することに大変さを感じているかについて質問
- 小学生・中学生ともに、「特に大変さは感じていない」が最も多いが、次いで小学生では「気持ちの面で大変」が、中学生では「時間的余裕がない」が多かった。

【小学生】



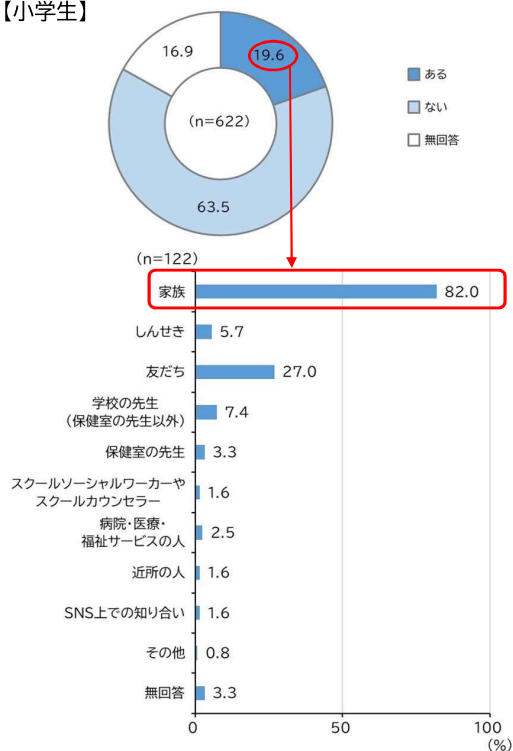
【中学生】



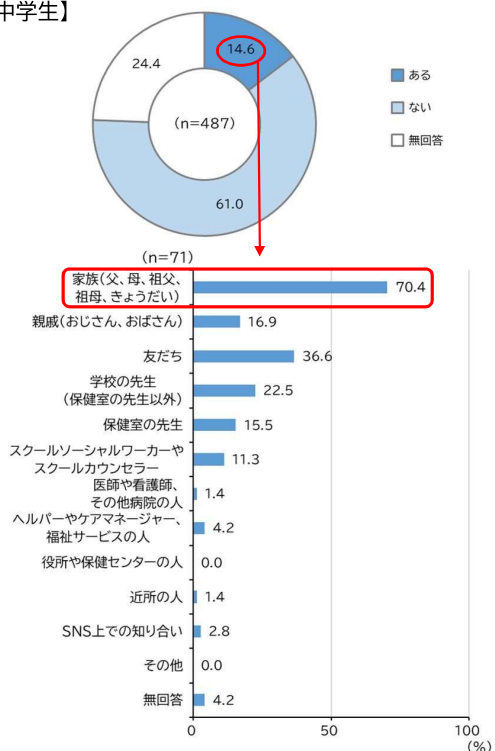
相談したことの有無(①相談相手)

- お世話をしている家族が「いる」と回答した人に、お世話をしている家族のことや悩みを相談したことがあるかについて質問
- 小学生・中学生ともに、「ない」が最も多かった。「ある」の場合の相談相手は、いずれも「家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい)」が最も多かった。また、「ない」の場合の理由は、いずれの年齢でも「相談するほどの悩みではないから」が最も多かった。

【小学生】

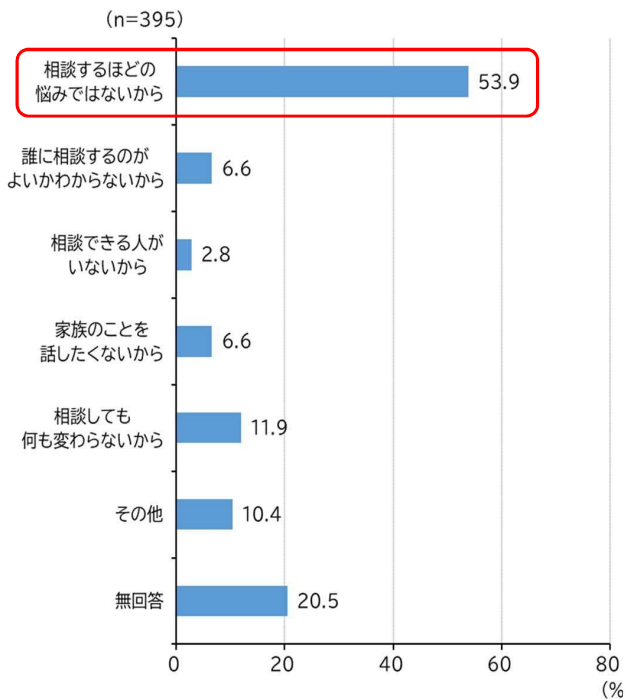


【中学生】

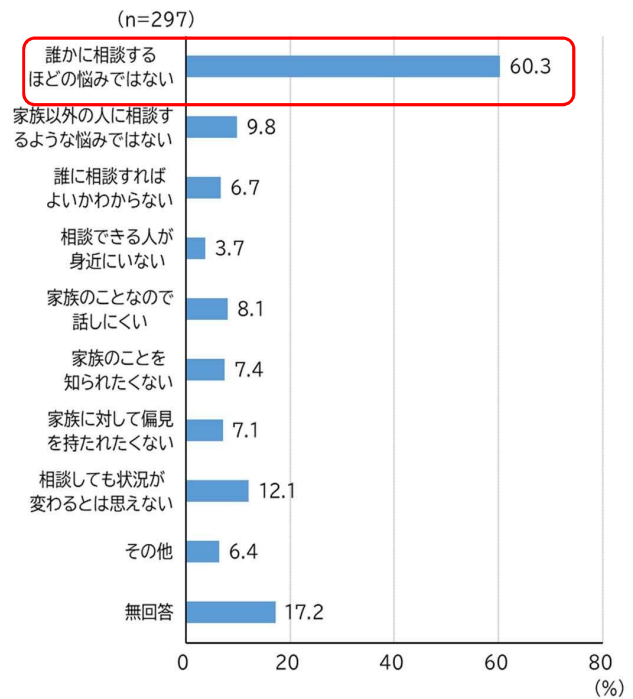


相談したことの有無(②相談していない理由)

【小学生】



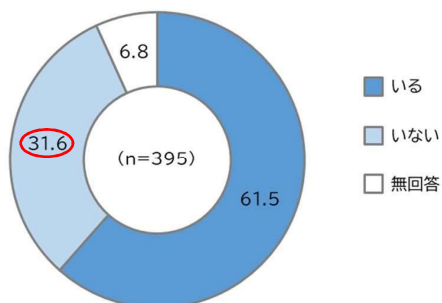
【中学生】



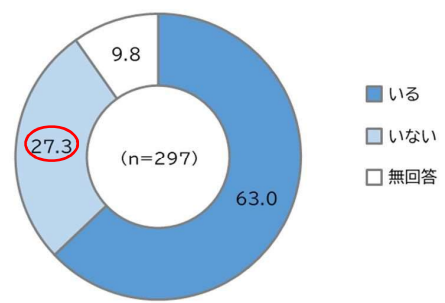
お世話について話を聞いてくれる人の有無

- お世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、お世話について話を聞いてくれる人の有無を質問
 ○ 小学生・中学生ともに、「いる」が最も多いが、「いない」と回答したのが、小学生では31.6%、中学生では27.3%だった。

【小学生】



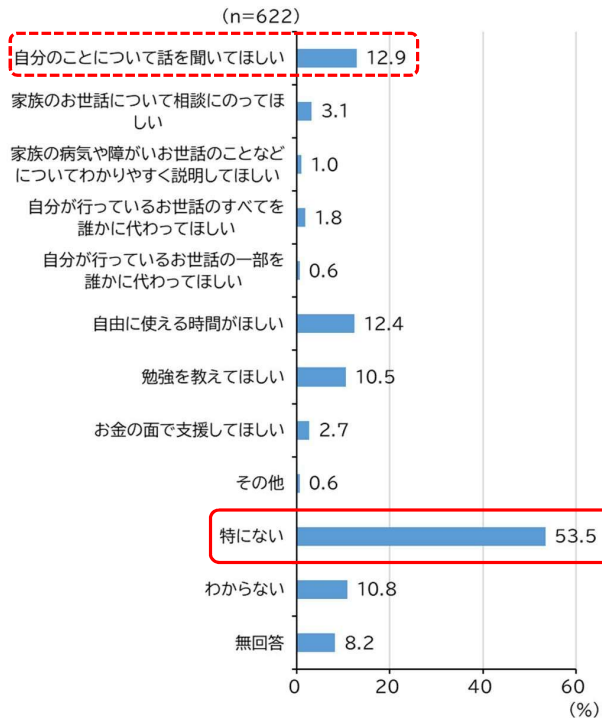
【中学生】



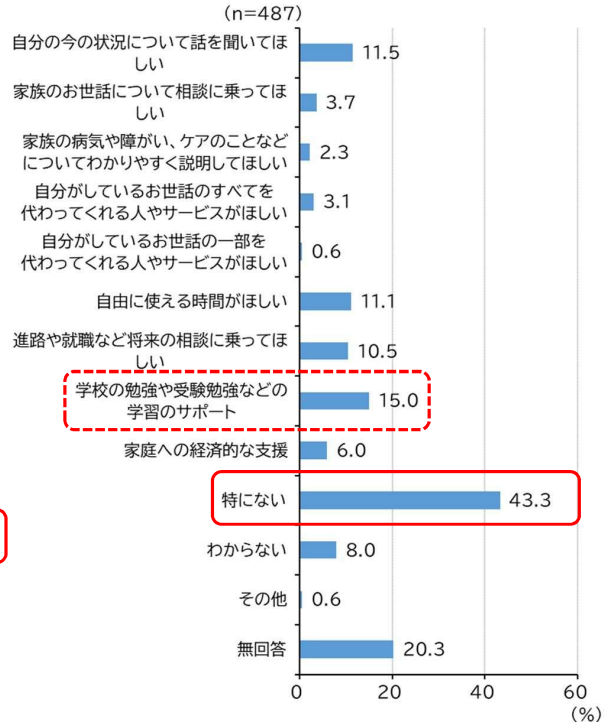
周囲に期待する支援

- お世話をしている家族が「いる」との回答者に、学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援について質問
- 小学生・中学生ともに「特になし」が最も多いが、次いで小学生では「自分のことについて話を聞いてほしい」が、中学生では「学校の勉強や受験勉強などの学習のサポート」が多かった。

【小学生】



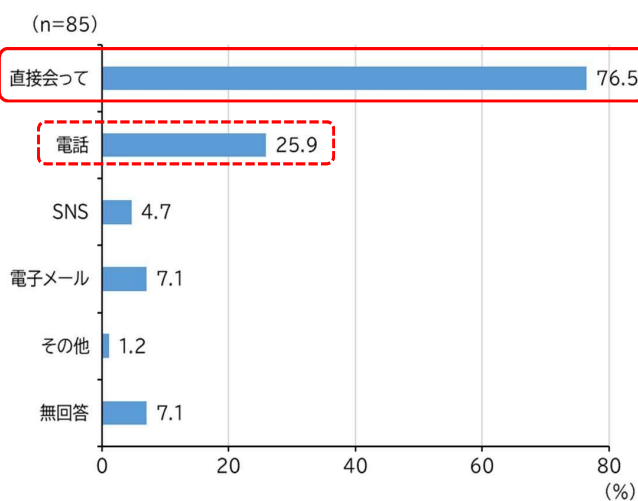
【中学生】



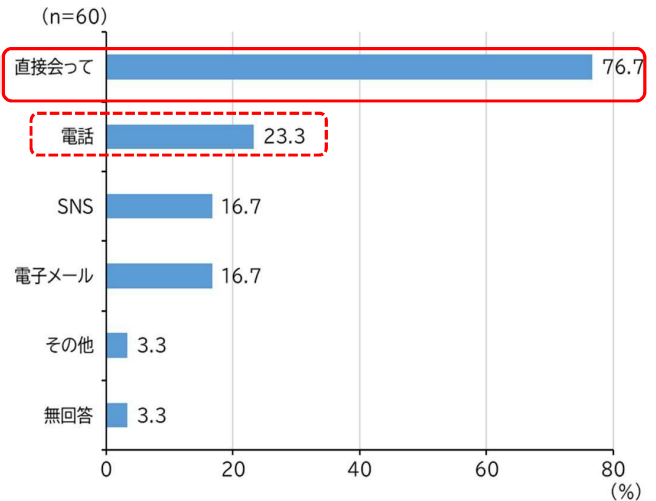
希望する相談方法

- 「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談方法について質問
- 小学生・中学生ともに、「直接会って」が最も多く、次いで「電話」が多かった。

【小学生】



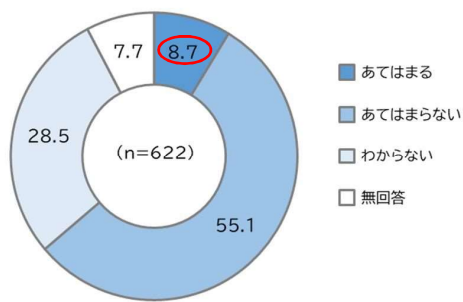
【中学生】



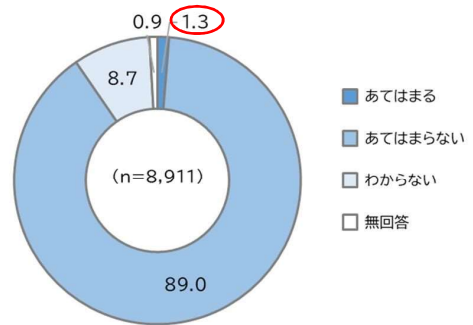
ヤングケアラーであることの自覚

○「ヤングケアラーである」と自覚していると回答したのは、小学生は「お世話をしている家族がいる」と回答した人のうち8.7%、中学生は「全体」の1.3%

【小学生】

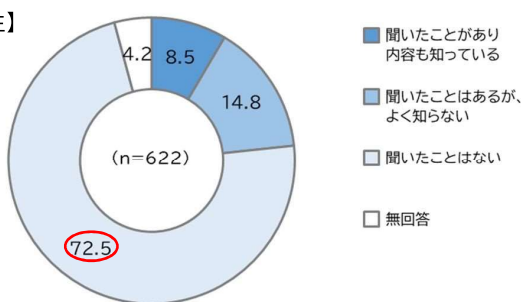


【中学生】

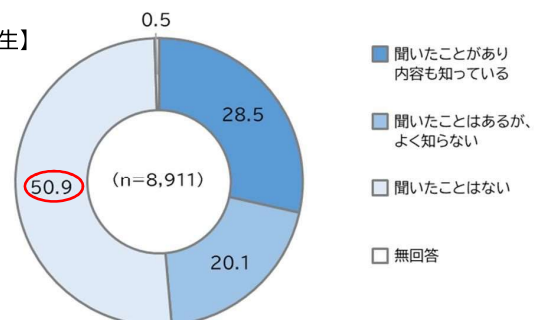


○ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけについて、小学生は「お世話をしている家族がいる」と回答した人のうち72.5%、中学生は「全体」の50.9%

【小学生】



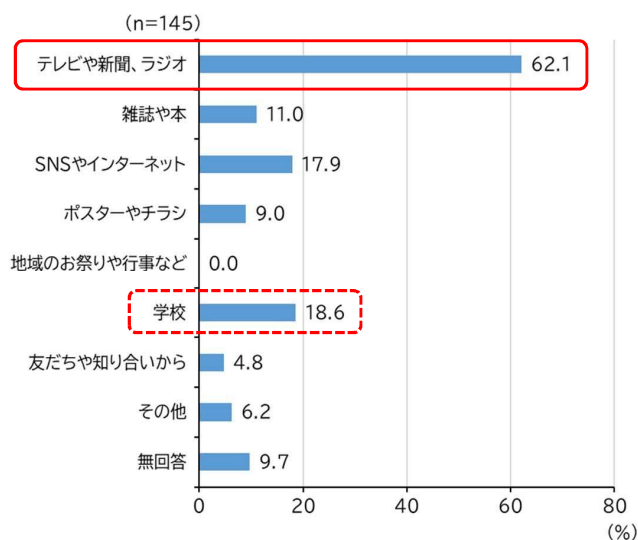
【中学生】



「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

○「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけについて、小学生は「お世話をしている家族がいる」と回答した人のうち、中学生は全体のうち、それぞれ「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがある人に質問
○小学生・中学生ともに「テレビや新聞、ラジオ」が最も多く、小学生は「学校」、中学生は「SNSやインターネット」が2番目に多かった。

【小学生】



【中学生】

